

# 9年生 社会科

学期	単元	観点	評価基準	時数
	【歴史分野】 第7章 二度の世界大戦と日本 第1節 第一次世界大戦と民族 独立の動き	社会事象への 関心・意欲・態度	第一次世界大戦と大戦後の世界や日本の動きに対する関心を高め、大戦を引き起こした要因や、大戦後に世界平和実現のために世界や日本が取り組んだ努力について、意欲的に追究しようとしている。	7
		社会的な 思考・判断・表現	第一次世界大戦について、欧米列強や日本が推し進めてきた帝国主義政策や、民族対立、大戦の状況、大戦後の世界や日本の動きなどから多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	
		資料活用の 技能	第一次世界大戦と大戦後の世界に関する様々な資料を活用し、読み取ったり図表にまとめたりしている。	
		社会的事象についての 知識・理解	第一次世界大戦の背景や戦いの様子、大戦後の世界の動きについて関連づけながら理解し、その知識を身に付けている。	
	【歴史分野】 第7章 二度の世界大戦と日本 第2節 大正デモクラシー	社会事象への 関心・意欲・態度	第一次世界大戦後の日本の動きに対する関心を高め、政治面・社会面・文化面から意欲的に追究しようとしている。	4
		社会的な 思考・判断・表現	第一次世界大戦後の日本の動きを、政治・社会・文化を関連づけながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	
		資料活用の 技能	大正時代の政治・社会・文化に関する様々な資料を活用し、読み取ったり図表にまとめたりしている。	
		社会的事象についての 知識・理解	大正時代の特色について、政治・社会・文化を関連づけながら理解し、その知識を身に付けている。	
	【歴史分野】 第7章 二度の世界大戦と日本 第3節 恐慌から戦争へ	社会事象への 関心・意欲・態度	第二次世界大戦前の世界と日本の動きに対する関心を高め、世界平和の実現を旨とした国際社会の挫折や、戦争に向かっていく世界と日本の情勢について意欲的に追究しようとしている。	6
		社会的な 思考・判断・表現	第二次世界大戦前の複雑な国際情勢について、経済と政治の動きを結びつけながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	
		資料活用の 技能	第二次世界大戦前の世界と日本に関する様々な資料を活用し、読み取ったり図表にまとめたりしている。	
		社会的事象についての 知識・理解	第二次世界大戦を引き起こした要因について、世界恐慌による世界経済の悪化と各国の社会の混乱、それにとまなう政治体制の変化を関連づけながら理解し、その知識を身に付けている。	
	【歴史分野】 第7章 二度の世界大戦と日本 第4節 第二次世界大戦と日本 の敗戦	社会事象への 関心・意欲・態度	第二次世界大戦の開戦から終結までの世界と日本の動きに対する関心を高め、大戦の経過と大戦がもたらした惨禍、戦時下の厳しい生活を調べるなかで、平和の大切さや世界平和を実現するために必要な努力について考えようとしている。	6
		社会的な 思考・判断・表現	第二次世界大戦での枢軸国と連合国の動きについて、ヨーロッパでの戦争・日中戦争・太平洋戦争を関連づけながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。また、大戦の考察を通し、平和の大切さや世界平和を実現するために必要な努力について思いを深めている。	
		資料活用の 技能	第二次世界大戦の戦況や被害、戦時下の生活に関する様々な資料を活用し、読み取ったり図表にまとめたりしている。	
		社会的事象についての 知識・理解	第二次世界大戦のあらましについて、日本と世界の動きを関連づけながら理解し、その知識を身に付けている。また、第二次世界大戦が、かつてない大きな被害と犠牲をもたらした戦争であったことを理解している。	

<p>【歴史分野】 第8章 現代の日本と世界 第1節 日本の民主化と冷戦</p>	社会事象への 関心・意欲・態度	第二次世界大戦後の日本の変化に対する関心を高め、新しい日本の建設がどのように進められたのか意欲的に追究しようとしている。	6
	社会的な 思考・判断・表現	冷戦、日本の民主化と再建の過程、国際社会への復帰や第二次世界大戦後の諸改革の特色について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	
	資料活用の 技能	冷戦、日本の民主化と再建の過程、国際社会への復帰などに関する様々な資料を活用し、読み取ったり図表にまとめたりしている。	
	社会的事象についての 知識・理解	世界の動きのなかで新しい日本の建設が進められたことを理解し、その知識を身に付けている。	
<p>【歴史分野】 第8章 現代の日本と世界 第2節 世界の多極化と日本</p>	社会事象への 関心・意欲・態度	1960～70年代の世界と日本の動きに対する関心を高め、国民の生活がどのように向上していったのか意欲的に追究しようとしている。	5
	社会的な 思考・判断・表現	日本の高度経済成長や石油危機について、国際社会や国民生活との関わりから多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	
	資料活用の 技能	日本の高度経済成長や石油危機、国際社会や国民生活との関わりなどに関する様々な資料を活用し、読み取ったり図表にまとめたりしている。	
	社会的事象についての 知識・理解	1960～70年代の世界と日本の動きについてとらえ、我が国の経済や科学技術が急速に発展して国民の生活が向上したことを理解し、その知識を身に付けている。	
<p>【歴史分野】 第8章 現代の日本と世界 第3節 冷戦の終結とこれからの日本</p>	社会事象への 関心・意欲・態度	冷戦終結後の世界と日本の動きに対する関心を高め、未来に向けて社会に残されている様々な課題と、自分との関わりについて意欲的に追究しようとしている。	6
	社会的な 思考・判断・表現	国際社会のなかで日本が果たす役割や、環境・人権・平和などをめぐる様々な課題について多面的・多角的に考察し、これからどのように社会と関わればよいのか自分なりに表現している。	
	資料活用の 技能	冷戦終結後の世界と日本の動きや、社会に残されている環境・人権・平和などの課題に関する情報を活用し、読み取ったり図表にまとめたりしている。	
	社会的事象についての 知識・理解	冷戦終結後の世界や日本の動きと関連づけながら、国際社会において日本の役割が大きくなってきたことや、環境・人権・平和などをめぐる様々な課題が残されていることを理解し、その知識を身に付けている。	
<p>【公民分野】 第1章 現代社会の私たちの生活</p>	社会事象への 関心・意欲・態度	□現代社会の特色や日本の伝統や文化に対する興味・関心を高め、それらが社会生活にどのような影響を与えているか、また、自分たちはその中でどのように生きていくべきかなどについて、意欲的に考えている。 □現代社会を捉える見方や考え方について、具体的な事例を基にした活動に意欲的に取り組み、これ以降の公民的分野の学習に対する関心を深めている。	14
	社会的な 思考・判断・表現	□現代社会の特色や、現代社会における文化の意義や影響について、地理的分野や歴史的分野の学習内容や、それぞれの事象の相互の関連などに着目して多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 □社会生活における物事の決定の仕方や決まりの意義について、身近な生活と関連づけて捉えたり、対立と合意、効率と公正の見方や考え方に基づいてまとめたり、発表したりしている。	
	資料活用の 技能	□さまざまな写真や統計資料などから、現代社会の特色や、現代社会における文化の意義や影響について読み取り、図表や短文などに適切にまとめたりしている。	
	社会的事象についての 知識・理解	□現代社会の特色や、現代社会における文化の意義や影響について理解し、その知識を身に付けている。 □現代社会を捉える見方や考え方の基礎として、対立と合意、効率と公正などの見方や考え方があることに気づき、それらを理解している。	

【公民分野】 第2章 個人の尊重と日本国憲法	社会事象への 関心・意欲・態度	<input type="checkbox"/> 個人の尊重の考え方や法の意義に対する関心を高め、民主的な社会の在り方について、社会の形成者としての立場から考えている。 <input type="checkbox"/> 現代社会における人権に関する課題について関心を持ち、その解決について意欲的に追究している。	19
	社会的な 思考・判断・表現	<input type="checkbox"/> 日本の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意味について、具体的な事例を通して多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 <input type="checkbox"/> 人権思想の展開と日本国憲法の成立について、歴史的分野の学習内容を踏まえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	
	資料活用の 技能	<input type="checkbox"/> 個人の尊重の考え方や法の意義に関するさまざまな資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して、読み取ったり、図表などにまとめたりしている。	
	社会的事象についての 知識・理解	<input type="checkbox"/> 個人の尊重の考え方や、社会生活における法の意義と憲法に基づく政治の重要性、日本国憲法の基本原理(国民主権、平和主義、基本的人権の尊重)、天皇の地位と国事行為について理解し、その知識を身につけている。	
【公民分野】 第3章 現代の民主政治と社会	社会事象への 関心・意欲・態度	<input type="checkbox"/> 国や地方公共団体の政治に対する関心を高め、学習に意欲的に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 民主政治をより良く運営していくためにはどのような仕組みが必要か、また自分は政治にどのように関わっていけばよいか、意欲的に考えている。	22
	社会的な 思考・判断・表現	<input type="checkbox"/> 政治に関与するさまざまな事象や課題について、対立と合意、効率と公正などの観点から多面的・多角的に考察するとともに、主権者としての政治参加の在り方について考えている。 <input type="checkbox"/> 選挙や裁判、地方自治などに関する多様な活動を通して、自分の意見を根拠を挙げながら分かりやすく説明するとともに、多様な価値観を尊重しながら話し合いを行い、その過程や結果を適切に表現している。	
	資料活用の 技能	<input type="checkbox"/> 国や地方公共団体の政治に関する新聞記事や法令、判例などの資料をさまざまな方法で収集・選択し、政治や社会の現状や課題についての的確に読み取ったり、文章や図表などにまとめたりしている。	
	社会的事象についての 知識・理解	<input type="checkbox"/> 国や地方公共団体の政治の仕組みについて、主権者の立場から理解し、その知識を身につけている。 <input type="checkbox"/> 多数決の原理や政党の役割、公正な裁判の保障などについて理解するとともに、国民の政治参加の重要性を理解している。	
【公民分野】 第4章 私たちの暮らしと経済	社会事象への 関心・意欲・態度	<input type="checkbox"/> 身近な経済的事象から、企業の生産活動、金融の働き、政府の経済的な役割などについて関心を持ち、経済に関する諸課題について意欲的に追究している。 <input type="checkbox"/> 消費者問題や労働、金融、財政などと、自分の現在および将来の生活が密接に関わっていることに関心を持ち、調査や討論などに積極的に取り組んでいる。	25
	社会的な 思考・判断・表現	<input type="checkbox"/> 企業の社会的責任や日本の財政の課題などについて、対立と合意、効率と公正などの観点から多面的・多角的に考察し、考えたことを分かりやすく表現している。 <input type="checkbox"/> さまざまな経済的事象や日本経済の諸課題について、消費者や生産者、労働者、政府、納税者などの立場から多面的・多角的に考察し、考えたことを分かりやすく表現している。	
	資料活用の 技能	<input type="checkbox"/> 経済に関する統計資料や新聞記事などをさまざまな方法で収集し、家計、企業、政府の経済活動や、日本経済の諸課題について読み取ったり、その結果を文章や図表などに適切にまとめたりしている。	
	社会的事象についての 知識・理解	<input type="checkbox"/> 身近な事例を基に、消費や労働、生産と金融の仕組みや働きについて理解するとともに、市場経済の基本的な考え方を身につけ、その考え方を活用して経済的事象を捉えている。 <input type="checkbox"/> 社会資本の整備や社会保障の充実など、国民の生活と福祉の向上のために国や地方公共団体が果たしている役割を理解し、その知識を身につけている。 <input type="checkbox"/> 経済活動に伴う環境汚染や自然破壊の問題について理解するとともに、それに対して政府、企業、家計のそれぞれが取り組むことの重要性を理解している。	

三  
学  
期

【公民分野】 第5章 地球社会と私たち	社会事象への 関心・意欲・態度	□国際社会の抱える諸課題に対する関心を高め、課題を意欲的に追究し、より良い地球社会を築くための解決策について考え続けようとする態度が見られる。	15
	社会的な 思考・判断・表現	□さまざまな統計資料や写真、新聞記事などの読み取りを通して国際社会が抱える諸課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの観点を踏まえて多面的・多角的に考察するとともに、それらを解決する方法について、持続可能な社会の観点からの確に表現している。 □国際社会の諸課題やその解決への取り組みについて考察し、過程や結果を適切に表現したり、発表や討論などを通して考えを深めたりしている。	
	資料活用の 技能	□国際社会の現状や諸課題に関するさまざまな資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択し、的確に読み取ったり、図表などにまとめたりしている。	
	社会的事象についての 知識・理解	□世界平和の実現と人類の福祉の増大の観点から、国家相互の主権の尊重、各国の相互理解と協力の重要性について理解している。 □地球環境問題や貧困問題などの国際社会の諸課題や、その解決のためのさまざまな取り組み、日本の国際貢献について理解し、その知識を身につけている。	
【公民分野】 終章 より良い社会を目指して	社会事象への 関心・意欲・態度	□持続可能な社会を実現するために解決すべき社会の課題に関心を持ち、その解決策を意欲的に探究している。 □より良い社会を築くために自分に何ができるか考え、社会参画しようとする態度が見られる。	5
	社会的な 思考・判断・表現	□持続可能な社会を実現するために解決すべき社会の課題について、地理的分野と歴史的分野の学習内容も踏まえて多面的・多角的に考察し、その結果をレポートに表現している。 □持続可能な社会を実現するために解決すべき社会の課題の解決について、社会参画の観点で捉えるとともに、対立と合意、効率と公正などの観点を踏まえて考察している。 □身近な地域の生活や日本の取り組みとの関連性に着目し、地域的な視野と世界的な視点に立って探究を深めている。	
	資料活用の 技能	□持続可能な社会を実現するために解決すべき社会の課題を探究するにあたって、さまざまな資料を適切に収集・選択し、活用している。 □レポートを作成するにあたって、「テーマの設定→資料の収集と読み取り→考察→レポートの執筆・完成」という科学的な探究の過程をたどっている。	
	社会的事象についての 知識・理解	□持続可能な社会を形成するために解決すべき社会の課題として、環境・エネルギー、人権・平和、伝統文化・宗教、防災・安全などがあることを理解し、それらの知識を身につけている。 □持続可能な社会を実現するために解決すべき社会の課題とその解決策について、これまでの社会科で学習した知識と関連づけて理解している。	